

令和7年度 3年次生 学びのプラン

教科名	表現	単位数 (コマ数)	2単位 (2コマ)	履修年次	3年次	
科目名	自己表現	履修	選択	開講	通年	
教科書	なし	副教材	なし			
1 学習の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自らの意見を根拠をもとに伝える表現力や、新たなものを生み出す創造力を身に付ける。 ○ 他者と協働し、他者を理解する態度を身に付ける。 ○ 創意工夫を重ね、適切な表現方法を用いて自身の考えを表現する能力を身に付ける。 ○ 地域に対する関心を高め、積極的に関わる態度を身に付ける。 						
2 学習の方法						
(1) 授業について						
<ul style="list-style-type: none"> ① 本授業は、自らの想いや考えを根拠をもって伝える能力を身に付けることを目指しています。そのため、自ら考え行動する「主体性」が重要となります。グループワークやディスカッションを中心とした授業で自己の能力を高めるよう努めてください。 ② 「自己」を「表現」するためには「他者」の存在が不可欠です。個人の作業に留まることなく、他者との協働を通し、他者理解、コミュニケーション能力の向上に努めてください。 ③ 伝統や過去の事例といったものにとらわれることなく、創意工夫を重ね、創造性を向上させてください。 ④ 学外の方々と関わる場面があります。自らの考えを「表現」し、正しく伝えるために工夫するなどして、積極的に対話をしてください。 						
(2) その他						
<ul style="list-style-type: none"> ① 考査は実施しません。 ② 評価は、日ごろの活動の様子や、成果物(レポート・発表等)をもとに行います。 						
3 評価について						
① 評価の観点						
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの考えや想いを伝えるための根拠を見出し、論理的にまとめることができる。 ・ 正しい表現方法で自らを表現することができる。 					
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取り扱うテーマに関して課題を見出し、解決するための方法を考え、「他者」に伝えるように表現することができる。 ・ 伝統や過去の事例にとらわれることなく、創意工夫を重ねていくことができる。 					
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に自らを表現している。 ・ 「他者」と協働したり、学び合ったりする能力を身に付けようとしている。 ・ 地域に対する関心を高め、積極的に関わる態度を身に付けようとしている。 					
② 評価の方法						
	材料	ワークシート	レポート	自己評価	発表	評価方法
知識・技能		○	○			ワークシート・レポートの記述などを状況に応じて評価します。
思考・判断・表現		○	○		○	ワークシート・レポートの記述、発表への取組や内容などを状況に応じて評価します。
主体的に学習に取り組む態度				○	○	発表への取組や内容、自己評価の内容等を状況に応じて評価します。
4 その他						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価の観点(目標)と評価規準(A~C規準)は授業ごとに示すので、目標・内容を確認して取り組むようにしてください。 						

5 単元の目標・評価						
単元名	自己理解と表現方法					
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 客観的な自己分析と自己開示等により、自己を見つめ直し、他者に伝える作法を身に付ける。 根拠・論拠にもとづいた自己の考えを他者に伝わるように表現する。 					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	発表(自己紹介)					
活動内容	見つめ直した自己について、テーマをもち、最適なツールを用いて他者に伝える。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ジョハリの窓などのツールを用いて自己を客観的に捉えることができる。 他者に正確に伝えるための表現方法、論理的な表現について理解することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 自己を見つめ直すことで自己理解を深化させるとともに、表現するために伝えたい内容を精査しまとめることができる。 他者に理解しやすく伝えるために論理的な表現と表現のためのツールを考えることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 多角的な視点で自己を見つめ直そうとし、主体的に自己理解を深めようとしている。 本発表における最適なツールを選択し、よりよい発表にしようとしている。 	
単元名	企画立案・運営実践					
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 学校説明会の企画・運営を行い、中学生に帯広三条高校の魅力を伝える。 学校説明会の企画・運営を通して、魅力を伝えるプレゼンテーションを作成し、伝え方の技術を学ぶとともに、企画の立案と運営について、実践的に学ぶ。 					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	プレゼンテーション等					
活動内容	学校説明会におけるプレゼンテーション等					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 帯広三条高校の魅力を再考するとともに、発信する内容と方法について理解することができる。 プレゼンテーションや資料作成などの作法を学び、活用することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 中学生に魅力を伝えるために、よりよいプレゼンテーションの方法を考え、実践することができる。 よりよい学校説明会にするために、資料作成・運営企画と実践を行うことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 中学生に魅力を伝えるために、創意工夫を凝らし、企画・運営しようとしている。 よりよい学校説明会にするために、グループのメンバーと積極的に協働して取り組もうとしている。 	
単元名	課題発見・課題解決					
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 「帯広市のまちづくり」をもとに、帯広市の課題を発見し、課題解決のための方策を論理的かつ明確に他者に伝えるプレゼンテーションを実践する。 					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ活動・プレゼンテーション・商品開発など					
活動内容	グループ活動等でメンバーと協働して課題発見と解決の方策を検討し、論理的かつ具体的に他者に提示するとともに、実践する。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 課題発見・解決のために資料の読解・活用、調査などの方法について理解し活用することができる。 課題発見・解決について、資料等を活用し、プレゼンテーションする作法を理解し、実践することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 帯広市の課題について、様々な角度から比較・検討し、考えることができる。 自らが考えた課題解決策について、論理的かつ具体的に他者に伝えることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 自ら進んで帯広市の課題について考え、解決のための方策を実用的に検討しようとしている。 課題解決のために様々な手段を検討し、他者が理解できるように解決策の提示方法について考えようとしている。 	

6		年間計画				
学期	月	単元	項目	予定時数	考查	
前期	4	○ オリエンテーション	・学びのプランについて ・アイスブレイク	・「自己表現」のねらいと計画を把握 ・受講者同士の交流を深める。	2	前期 中間 考查
		□ 自己理解と表現方法	【自己紹介】 ・自己紹介を考える ・自己紹介を発表する	・ツールを用いた自己開示・自己理解の深化 ・自己紹介テーマ、発表方法などをそれぞれ検討し、実践する。	6	
	5	○ 課題発見・課題解決	【帯広市のまちづくり①】 ・「帯広市のまちづくり」とは ・「まちづくり」の対話	・「帯広市のまちづくり」の概要 ・まちづくりについて市との対話	3	
	6	○ 企画立案・運営実践	【学校説明会企画運営】 ・中学生へのメッセージ ・「学校説明会をプロデュース」 学校説明会企画	・中学校訪問時資料として、出身中学校後輩へのメッセージ作成 ・プレゼンテーションの基礎 ・帯広三条高校の魅力 ・魅力を伝えるには ・学校説明会をプロデュース 担当別業務 資料作成	4 2 4	前期 期末 考查
		7		各担当業務 資料作成	8	
	9	【学校説明会運営】			2	後期 中間 考查
		・学校説明会振り返り			1	
	10	○ 課題発見・課題解決	【帯広市のまちづくり②】 まちづくりに向けて 帯広市の課題発見 テーマ設定と考察	・「まちづくり」に関わる講座 ・課題発見と深化 ・グループに分かれてテーマ決め、探究 先行研究、類似事例調査 アイデア出し 精査・分析	2 4 8	
11		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> ・外部人材活用 (対面・オンライン) ・フィールドワーク </div>	解決方法提示	・解決案等を確定し、深化 論理的・客観的視点で検討	8	
			プレゼンテーション作成 発表会リハーサル	・多様な他者に伝えるプレゼン テーションの作成	8 2	
12	【まちづくりアイデア発表会】			2		
	・発表会反省			1		
後期	【1年間の振り返り】			1	後期 期末 考查	
	1					
	2					
	3					

必履修(共通)
必履修(選択)
選択